<学生への指導内容>

- I.6月5日に大学より学生に配信された「新型コロナウイルス感染拡大防止の下での対面授業実施・対策について」(資料1)を再度確認し、守ること。
- Ⅱ. 厚生労働省が5月4日に公表した「新しい生活様式」(資料2)にある(1)~(3)の実践 を徹底すること。
- Ⅲ. 実習の1ヶ月前からは、以下の事項について特に留意すること。
 - 1 実習開始1ヶ月前から(今後の状況により、変更が生じる場合がある)
 - (1) 海外渡航をしない。また、県外外出を極力控える。
 - (2) 人との接触は避ける。
 - ・ 県外の知人、県内感染者や濃厚接触者等
 - (3) 密集・密接な集会等への参加を控える。
 - ・昼夜を問わず大勢での飲食会等
 - ・不特定多数の人が利用する「大型商業施設」や飲食店等でのアルバイト

2 実習開始2週間前から

- (1) 毎朝の検温と体調管理を徹底する。
 - ・「健康観察記録票(実習用)」(資料3)の記入と Google classroom での大学への報告 異常がある場合は、速やかに大学に連絡をするとともに、医療機関への相談や受診を 行い、その指示に従う。
- (2) 不要不急の外出やアルバイト、課外活動等を控える。

3 実習期間

- (1) 毎朝の検温と体調管理を徹底する。
 - ・「健康観察記録票(実習用)」の記入
- (2) 出勤してすぐに「健康観察記録票(実習用)」を実習担当者に提出し、体調の報告 を行う。
- (3) 実習中もマスクの常時着用を行う。
- (4) 石鹸を使っての手洗いとうがいを励行する。
- (5) 不要不急の外出やアルバイトは行わない。
- (6) 発熱等の風邪症状やその他体調不良がみられた場合は、必ず実習先と大学の各センターへ連絡をするとともに、医療機関への相談や受診を行い、その指示に従う。

(資料4)

4 実習後2週間

(1)「健康観察記録票(実習用)」の記入

(資料1)

<学生のみなさんへ:新型コロナウイルス感染拡大防止の下での対面授業実施・対策について> (本学 HP より抜粋)

(2) 授業における注意事項

- ①受講者数に応じて、講義室が時間割に記載の教室から変更する場合があります。Gmail や掲示をよく確認してください。
- ②必ずマスクを着用してください。
- ※マスクを忘れた時は、学務課・保健センターにご相談願います。
- ③教室の中では、密集、密接を避けるため、担当教員の指示に従い、座席の間隔をとり着席してください。
- ④教室の換気に努めてください。教室の入口は、常時開放して実施しますので、体温調節できる服装を心がけてください。
- ⑤授業前、机等の共用物について、教室備え付けの消毒用スプレーとペーパータオルで拭くよ うにしてください。
- ⑥私語をしないでください。

(3) 授業外における注意事項

脊校前

① 毎朝登校前に必ず検温を行ってください。健康観察記録表(添付)を利用して、各自の健康 状態を確認してください。なお、記録表は状況によっては提出して頂く場合があります。 発熱等、風邪の症状、体調不良がある場合は、登校しないでください。

登校する時

② マスクは、通学時も着用してください。

人との接触はできるだけ避けましょう。

公共交通機関等の不特定多数が接するところに触れた場合は、大学に登校したら必ず手洗いをしてください。

学内生活

③ 手洗いの実施と咳エチケットを徹底してください。

学内は机、イス、ドアノブ、スイッチ、文房具等共用物が大変多いです。こまめな手洗い と、普段から顔や髪の毛を触らないようにしましょう。

- ④ 密閉空間、密集場所、密接場面を徹底して避けてください。
- ⑤ 教室などで昼食をとる際は、向い合せにならないよう距離をとり座るなど心がけましょう。 食事の際はマスクを外すので、近距離での会話は避けましょう。また、十分に換気を行って ください。

食後は、使用した机等を備え付けの消毒用スプレーとペーパータオルで拭くようにしてくだ さい。

- ⑤ 図書館・コンピュータ室・ピアノ棟・学生ホール・食堂等は、各施設の利用方法に従い、利 用してください。密集、密接を避けるため状況により入室を制限する場合があります。
- ⑥ 授業終了後は、学内に留まらず速やかに帰宅し、自宅で事前・事後学修をしてください。

(4) 日常の感染予防について ※「自分が感染しない」「他の人に感染させない」ために。

- ①こまめに丁寧な手洗い、手指消毒、咳エチケット、人混みを避けるなど感染症予防対策を 徹底してください。
- ②十分な栄養、睡眠を確保し、毎日の体温測定など、適切な健康管理を行ってください。
- ③発熱や咳等、体調の悪い場合には登校せずに自宅で療養してください。

(5) 感染が疑われる場合の対応について

①以下の症状がある場合は、居住地の「新型コロナ受診相談センター (帰国者・接触者相談センター)」に連絡し指示を仰ぐと共に、保健センター・学務課に連絡してください。

相談・受診の目安

- ・息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合。
- ・重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合。
- ・上記以外で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合。

(症状が4日以上続く場合は必ず相談する。症状には個人差があるので、強い症状と思う場合にはすぐに相談する。解熱剤などを飲み続けなければならない場合も同様とする。) ※今後の状況により、変更が生じる場合があります。大学から発信される連絡を常に確認してください。

<健康観察記録票>

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に関する健康観察記録票

学科 学籍番号 氏名

毎日体温を測定して記録し、体調のチェックをしてください。また、医療機関受診や相談の際に持参してください。 発熱等の風邪の症状がある場合は、大学を休み自宅で休養してください。

	体温	! (°C)		呼吸器	左状		倦怠感	臭覚·味覚	その他の	受診した場合	行動記録
月日	朝	夜	咳	息苦しい	咽頭痛	鼻水	(だるさ)	異常	症状	医療機関名、診断名	(具体的外出先等)
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無			
/			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無		*	

※行動記録は、感染または濃厚接触者と判断された際に提出していただく場合があります。

感染が心配される場合の相談窓口

山形県<u>「新型コロナ受診相談センター(コールセンター)」 TL 0120-88-0006</u> 〈24時間対応、土日祝日含む〉

東北文教大学

(資料2)

<厚生労働省:「新しい生活様式」実践例>

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本: ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- □人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- 口遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
- 口会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 口外出時、屋内にいるときや会話をするときは、<u>症状がなくてもマスク</u>を着用
- 口家に帰ったらまず<mark>手や顔を洗う</mark>。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 口手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)
- 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 口感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 口帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 口発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 口地域の感染状況に注意する。

(2)日常生活を営む上での基本的生活様式

- 口まめに手洗い・手指消毒 口咳エチケットの徹底 口こまめに換気
- 口身体的距離の確保 □ 「3密」の回避(密集、密接、 密閉)
- □ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養















密接回避

換気

咳エチケット 手洗い

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 口通販も利用
- □ 1 人または少人数ですいた時間に
- 口電子決済の利用
- 口計画をたてて素早く済ます
- ロサンブルなど展示品への接触は控えめに
- ロレジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 口公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 口筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ロジョギングは少人数で ロすれ違うときは距離をとるマナー
- 口予約制を利用してゆったりと
- 口狭い部屋での長居は無用
- 口歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 口会話は控えめに
- 口混んでいる時間帯は避けて
- 口徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 口持ち帰りや出前、デリバリーも
- 口屋外空間で気持ちよく
- 口大皿は避けて、料理は個々に
- 口対面ではなく横並びで座ろう
- 口料理に集中、おしゃべりは控えめに
- 口お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 口多人数での会食は避けて
- 口発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4)働き方の新しいスタイル

- ロテレワークやローテーション勤務 口時差通勤でゆったりと ロオフィスはひろびろと
- 口会議はオンライン 口名刺交換はオンライン 口対面での打合せは換気とマスク

(資料3)

<健康観察記録票(実習用)の例・・・様式が変更になる場合があります>

1. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する健康観察記録票<u>(実習前2週間)</u>

東北文教大学

学科 氏名

毎日体温を測定し、感染しないための意識した生活行動をとりましょう。 発熱等の風邪の症状がある場合は、大学に連絡をし、必ず医療機関への受診または相談を行ってください。 その際に、この健康観察票を医療機関受診や相談の際に持参してください。

観察期間記入例	月日	検温 (平熱	検温 (<u>平熱 °C</u>)				呼吸	器症状		倦怠感	味覚·嗅覚	その他の症状	薬の服用名称	行動記録(下の枠内から選択して番号を記入)				
		朝	夜	咳		息苦	しい	咽頭痛	鼻水	(だるさ)	の異常	頭痛・腹痛など	服用した回数	外出の有無	目的	移動方法	同行者	
	8/20	36.3 ℃	36.0 °C	無 ·	有	(#)	・有	無·有	無·有	無・有	無・有	無・有 腹痛 (下痢)	ロキソニン (朝晩2回)	1	3	3	1	
実習 14日前	1	°C	°C	無・	有	無	・有	無・有	無・有	無・有	無・有							
13日前	1	°C	°C	無・	有	無	・有	無・有	無・有	無・有	無・有							
12日前	/	°C	°C	無・	有	無	・有	無・有	無・有	無・有	無・有							
11日前	1	°C	°C	無・	有	無	・有	無・有	無・有	無・有	無・有							
10日前	1	°C	°C	無・	有	無	• 有	無・有	無・有	無・有	無・有							
9日前	1	°C	°C	無・	有	無	• 有	無・有	無・有	無・有	無・有							
8日前	1	°C	°C	無・	·有	無	・有	無・有	無・有	無・有	無・有							
7日前	1	°C	°C	無・	有	無	・有	無・有	無・有	無・有	無・有							
6日前	1	°C	°C	無	有	無	・有	無・有	無・有	無・有	無・有							
5日前	1	°C	°C	無・	· 有	無	・有	無・有	無・有	無・有	無・有							
4日前	1	°C	°C	無・	・有	無	・有	無・有	無・有	無・有	無・有							
3日前	1	°C	°C	無・	· 有	無	・有	無・有	無・有	無・有	無・有							
2日前	1	°C	°C	無・	有	無	・有	無・有	無・有	無・有	無・有							
1日前	/	°c	°C	無・	- 有	無	• 有	無・有	無・有	無・有	無・有							

外出	0.	外出し	ていな	cli		. 外出した	(県内)	2.	外出し	た (県外)									
H 89				、書類提				2. 本学以外の						ニエンスストアー、スーパ	-7-7	ツト、薬局				い物	
	4.	. 医療機関への通院(付き添いも含む)						5、就職活動や	-ンシッ	プ	6. 飲食店での食事等					7. 4	その他()		
移動方法	1.	徒歩	2.	自転車	3.	自家用車	4.	知人の自家用車	5.	バス	6.	高速/	ベス	7. 在来線	8.	新幹線	9.	航空機	10.	その他()
同行者	1.	県内在	住の簿	マ族 :	2. 県	内在住の親族	3	. 県内在住の知力	4	. 県外	在住の	の家族	5.	県外在住の親加	英	6. 県夕	在住の	の知人			

2.新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する健康観察記録票<u>(実習期間)</u>

東北文教大学

学科 年 氏名

毎日体温を測定し、感染しないための意識した生活行動をとりましょう。 出動した朝に、この健康観察裏を実習担当者に提出し、前日退動後から当日朝までの健康状況等の報告をすること。症状「有」に該当する場合は、その際に詳細を報告すること。 発熱等の風邪の症状がある場合は、大学と実習先に連絡をし、必ず医療機関への受診または相談をし、医療機関受診や相談の際にはこの「健康観察記録票」を持参してください。

観察期間	月日	検温 (平熱 °C)					呼吸	器症状			倦怠感	味覚·嗅覚	その他の症状	薬の服用名称	行動記録(下の枠内から選択して番号を記入)				
		朝	夜		咳	息者	ましい	咽頭	痛	鼻水	(だるさ)	の異常	頭痛・腹痛など	服用した回数	外出の有無	目的	移動方法	同行者	
記入例	8/20	36.3 °C	36.0 ℃	無) · 有	(#)	・有	(#) ·	有	無・有	無・有	無·有	腹痛(下痢)	ロキソニン (朝晩2回)	1	3	3		
1日目	1	°c	°C	無	・有	無	· 有	無・	有	無・有	無・有	無・有							
2	/	°C	°C	無	・有	無	· 有	無・	有	無・有	無・有	無・有							
3	/	°C	°C	無	· 有	無	· 有	無・	有	無・有	無・有	無・有							
4	1	°C	°C	無	· 有	無	· 有	無・	有	無・有	無・有	無・有							
5	1	°C	°C	無	・有	無	· 有	無・	有	無・有	無・有	無・有							
6	1	°C	°C	無	・有	無	・有	無・	有	無・有	無・有	無・有							
7	1	°C	°C	無	・有	無	・有	無・	有	無・有	無・有	無・有							
8	1	°C	°C	無	・有	無	・有	無・	有	無・有	無・有	無・有							
9	1	℃	°C	無	・有	無	・有	無・	有	無・有	無・有	無・有							
10	1	°C	°C	無	・有	無	· 有	無・	有	無・有	無・有	無・有							
11	1	°c	°C	無	・有	無	· 有	無・	有	無・有	無・有	無・有							
12	1	°C	°C	無	・有	無	・有	無 -	有	無・有	無·有	無・有							
13	1	°C	°C	無	・有	無	・有	無・	有	無・有	無・有	無・有							
14	1	°C	°C	· 無	· 有	無	· 有	無・	有	無・有	無・有	無・有							

 外出
 0. 外出していない
 1. 外出した(県内)

 目的
 1. 大学・・・通学、書類提出等
 2
 2. 外出した(県外)
 7mm
 U. か田していない
 1. か田して (県内)
 2. 外田して (県内)
 2. 外田して (県内)

 自り 大学・・・通学、書類提出等
 2. 本学以外の図書館利用
 3. コンピニンスストア・、スーパーマーケット、薬局、量販店、書店等での買い物 6. 飲食店での食事等
 7. その他 ()

 移動方法
 1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. 知人の自家用車 5. バス 6. 高速パス 7. 在来線 8. 新幹線 9. 航空機 10. その他 ()

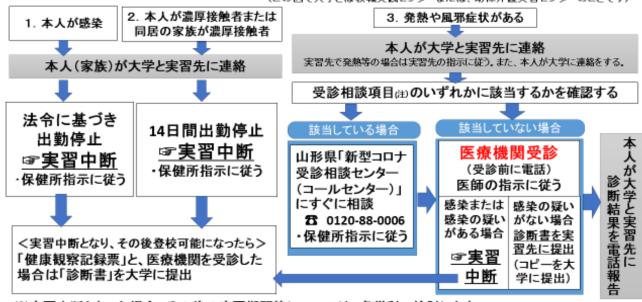
 同行者
 1. 県内在住の家族 2. 県内在住の親族 3. 県内在住の親族 3. 県内在住の知人 4. 県外在住の家族 5. 県外在住の親族 6. 県外在住の知人

(資料4)

<実習期間の新型コロナウイルス感染または感染疑いの学生自身の対応>

実習期間の新型コロナウイルス感染または感染疑いの対応について(学生用) 東北文教大学

(この図で大学とは教職実践センターまたは、幼保介護実習センターのことです)



※実習中断となった場合、その後の実習期間等については、各学科で検討します。

(注)相談の目安について…山形県ホームページより

「受診相談センター」(帰国者・接触者相談センター)のご案内

県では「新型コロナ受診相談センター(コールセンター)」を設置しています。 次のいずれかに該当する方はすぐにご相談ください。

- •息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状 のいずれかがある場合
- 重症化しやすい方(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
 - (※) 高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や 透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
- ・上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合 ※症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。

症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。 解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。